

## 1. 本園の教育目標

「よく遊ぶ子」、「よく頑張る子」、「よく考える子」という三本柱を保育の中心に置き、主体的に活動できる子どもに育てる。

## 2. 平成 30 年度 重点的に取り組む目標・計画

あそびそのものが学びとなるように保育教育内容を工夫するために職員間で随時検討会を開催し知識技術を共有する。

## 3. 平成 30 年度 評価項目の達成及び取り組み状況

保育の計画	園児一人ひとりが自信をもって活動できるように多様な計画を立て、その実施においても子どもの言葉を多く聞き入れ、職員間でよく話し合い検討反映し柔軟なものとした。	B
保育のあり方	園児による協同的な学びがもてるように、発達段階を意識しながら友だちとの関わりのなかで経験成長できるように心がけた。	B
保護者への対応	子育ての中心は保護者であることをより強く意識できるように子育てを支援する講習や研修を多く取り入れた。	B
人材育成	当園以外でも各種団体でご活躍いただいている現講師陣による園内研修を維持しつつ、毎日のミーティングを重視し、教職員間での知識技術の共有を図り、資質の向上に繋がった。	A
更なる向上	園内・園外での保育計画を進める上でも危機管理について意識しマニュアルの適宜更新を進めていく。	B

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

B	教職員間での日々のコミュニケーションや検討会が、小さな困り事の共有、検討・工夫・解消へと導かれた。相談する方もされる方も相互に学びと捉え両者の資質の向上に大きくつながった。
---	--

## ◎「3・4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

5. 令和元年度 取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育方法の研究	園舎改築に向けて、運動あそびの方法について外部講師のアドバイスをいただきながら戸外運動あそびと室内運動あそびの方法や展開を研究する。
危機管理	ヒヤリハットをもとに既存の危機管理マニュアルを教職員並びに子どもたちと一緒により具体的に安心安全な園となるように内容を工夫する。
資質の向上	子ども一人ひとりの成長に合わせて、長期的な見通しをもって保育内容を工夫するとともに自己研鑽に励む。
情報公開	ホームページや掲示を活用するなど、園での保育教育内容を保護者に知ってもらえるよう工夫する。

6. 平成 30 年度 学校関係者評価

地域清掃クリーン大阪、人と人とを結ぶ紙芝居の会による読み聞かせ、消防署によるセイバーミライ防火訓練、アラウータンと一緒に手洗い指導など、地域や社会との関わりを経験し、子どもたちも興味深く参加できた。
避難訓練では、避難スタイル・避難経路など、職員、子どもたち共に確認し、備えていた。
講師の紹介を兼ねて、保護者向けの講義を開催していただき、活動内容や講師の人柄がよくわかった。出来れば全講師との機会を設けていただきたい。
子育て中の保護者に向けて、大阪ガスによる調理・食育の講義もあり、大変興味深いものだった。参加募集の期間が短かった為参加人数が少なかった。
今年はおわじフェスタを開催したが、当日の参加率が少なかったのとリサイクルがなかったせいか、人数も景品、食品の売れ行きも過去のデーター通りには行かなかった。今後大幅に変更をした方がよいと思われる。参加者は大変楽しんでくださった。
お父さんの会によるゲームや餅つきは大好評であった。今後もっと活動をひろげていただきたい。
年長児による老健施設訪問では、優しい気持ちを育む経験が出来た。
専門学校主催のミュージカル観劇もできて、楽しい園外保育を経験できた。

子どもたちが地域や社会との関わりがもてるような防火訓練や手洗い体操、老健施設訪問や観劇などさまざまな経験を多く設定していただいている。

また、あわじフェスタに代表されるように地域や保護者向けへの子育て支援事業として、食育マネージャーや臨床心理士を招いて講習や体験も作っていただいている。しかし準備や内容に大幅な変更が必要になってきている。

お父さんの会”DADDY-A”が主催するゲームやお餅つきは大好評であった。今後も活動をひろげていただきたい。

## 7. 平成30年度 財務状況

公認会計士による監査において、財務状況が適正であることについて評価を受けております。